

保育の環境構成を学ぶための ストリーム配信型動画コンテンツの分析

塩路晶子^{*1}, 曾根直人^{*2}, 湯地宏樹^{*1}, 藤原伸彦^{*3}, 木下光二^{*3}, 田村隆宏^{*1}, 佐々木晃^{*4}

本稿は、ストリーム配信型動画教材を構築した Mediasite によって動画の場面ごとの視聴時間等を分析し、保育者が研修で用いる動画コンテンツの特徴を明らかにする。6つの動画コンテンツについて、トレンドの高低について確認した結果、4つの動画については、繰り返し視聴されている画面と視聴が少なくなる場面があることが分かった。動画コンテンツは、ラーニングブックレットに掲載されている保育事例と連動しており、保育事例に付記されているクエスチョンを手掛かりに視聴された可能性がある。また、保育動画は、幼稚園でよくみられる遊びや環境をテーマにしており、現職保育者は遊びの背景を想像しやすく、それだけにかえて遊びや環境の細部を理解しようとして、短い場面を視聴したのではないかと考察した。

[キーワード: 保育動画, 環境構成, 保育者]

1. はじめに

保育の質については、OECD(2016)によって「方向性の質」、「構造の質」、「過程の質」、「操作性の質」、「成果の質」の5つに分節化されて議論されている。その中でも「過程の質」に含まれる保育者の力量は、保育の質を左右する最も重要な要因である。待機児童の解消をめざした保育の量の拡充が叫ばれて久しいが、同時に保育の質も問われ続けている。また幼児教育・保育の無償化や認定こども園化等、保育をめぐる状況は刻々と変化している。そのような中でも、保育の質の向上は最も重要な課題であり、保育者の力量が鍵となっている。2017年に幼稚園教育要領等が改訂されたが、幼児教育・保育が「環境を通して行う教育」であることは引き継がれており、この「環境」を構成することは保育者の大切な役割である。

保育者はさまざまな研修等に取り組み、保育の環境構成の力量を向上させようとしている。中でも最近では文字による保育記録だけでなく、保育動画を用いた研修が注目されている。保育研修におけるビデオ・カンファレンスについて質的分析を行った先行

研究としては、中坪(2012)らの研究を挙げることができる。中坪らは、保育ビデオを視聴した場面についての保育者の談話内容について分析を行い、談話スタイルとその基底要因について明らかにしている。さらに、幼稚園教員免許法の改正により、幼稚園教員免許を取得するための大学等の教職課程の授業においても、「情報機器及び教材の活用」を学ぶことが必須になっており、ハード・ソフトの両面から保育現場にもIT技術が導入されていくことが予測できる。

塩路(2020)らは、保育者が研修等において使用することができる、幼児の遊びや保育の環境構成を理解するためのラーニング・ブックレット(2018)と、ブックレットに掲載した保育事例と連動した動画教材を開発し、その動画教材をウェブ上で視聴できるシステムを構築した(<http://www.naruto-u.ac.jp/projects/hoikukku/>)。本稿は、視聴データを分析し、動画コンテンツについての分析を行う。保育者のための研修用に多数のDVD等の動画教材が市販されているが、どのような内容の動画教材が現職保育者の研修には必要とされているのだろうか。本稿においては、動画教材を構築した Mediasite によって動画の場面ごとの視聴時間等を分析することにより、保育者が研修で用いる動画コンテンツの特徴を明らかにする。なお、ストリーム配信型動画教材をウェブ上で視聴できるシステムについては、曾根(2020)を参照されたい。

2. 動画コンテンツの概要

*1 鳴門教育大学大学院 高度学校教育実践専攻 教職実践高度化系 子ども発達支援コース

*2 鳴門教育大学大学院 高度学校教育実践専攻 自然・生活系教科実践高度化コース(技術・工業・情報科教育実践分野)

*3 鳴門教育大学大学院 高度学校教育実践専攻 教職実践高度化系 教員養成特別コース

*4 鳴門教育大学附属幼稚園

システムに登録した6つの動画コンテンツは、鳴門教育大学附属幼稚園遊誘財データベースに登録されているもので、あらかじめ編集されていた保育についての動画データであり、概要は表1に示す通りである。なお、視聴回数は、2020年8月6日時点のものである。

表1 動画コンテンツの概要

動画名	幼児の年齢	月	遊び	環境	動画時間	視聴回数
3yr-dinos	3	11月	秋の自然物を用いて恐竜をつくる	中庭	1分28秒	105
4sunaba	4	11月	砂場を掘って石を見つけたり、穴に水を通したりする	砂場	5分48秒	66
here	4	10月	ジュズダマでネックレスを作る	中庭	1分14秒	39
ガサガサ	5	5月	小さな森の木切れで秘密基地づくり	園外保育	1分20秒	29
グラス	3	9月	芝生の上を走り回る	中庭の芝生	27秒	26
ハナビラ	5	4月	サクラの花びらを集めて絵本づくり	中庭のサクラ	1分49秒	43

動画の視聴者は、あらかじめパスワードを配布された教育委員会や、幼稚園・認定こども園・保育所等の組織や施設に所属している。パスワードの管理は園長等が行っていることから、園における研修等で視聴していると考えられる。

なお、研修を行っている園にはラーニングブックレットも配布しているため、動画を視聴する際には、ブックレットに掲載されている保育事例の記録を読んでいると考えられる。なお、保育事例は、動画の SCRIPT ではなく、同じ場面ではあるが保育事例として独立して読むことができるものである。保育事例の見開きページには、「STEP1 子どもの視点で考える ①子どもが興味関心をもって惹きつけられていたもの(こと)は何ですか?」、「②子どもがもの(こと)にどのように働きかけていましたか?」…以下、略)、「STEP2 保育者の意図を考える ①保育者の環境構成の意図は何ですか? ②保育者のかかわりの意図はどこにあると思いますか?」…(以下、略)といったクエスチョンのページがある。そのため、

これらのクエスチョンを手がかりに、動画を見ることができる。

動画の視聴回数にはばらつきがある。最も視聴回数が多かったのは、「3yr-dinos」であった。

3. 動画コンテンツについての分析

3.1 3yr-dinos

「3yr-dinos」の Mediasite の分析ダッシュボードは以下の図1の通りである。「3yr-dinos」という1分28秒の動画において、視聴回数が多かったのは、10秒から31秒の間であった。これは、3歳児の男児3、4人が保育者と一緒に、「一緒にしよう」と言いながら、砂場において、長さ70センチ程度の二股になった木切れに、木工ボンドを多めに塗って、赤く染まったサクラの落ち葉やドングリをつけている場面である。これは恐竜の口に見立てられており、入れ物に入った「ご飯」も口のあたりに置かれて、「柿食べるん?」等と話している。男児が「(ドングリを)つけた!」と言うと、保育者がさらにボンドを塗りながら「つけたね!歯が一つついた!」と応じている。「よし!いけるぞ!」と言って、口元に置かれた「ご飯」にドングリを埋め込んだり、二股になっている木切れにボンドを塗ってもらったところにさらにドングリの「歯」をつけたりしていく男児たちである。

3.2 4sunaba

「4sunaba」の Mediasite の分析ダッシュボードは以下の図2の通りである。

この「4sunaba」は、今回の6つの動画コンテンツの中では最も時間が長いものである。5分45秒の動画のうち、43秒までの前半が特に視聴回数が多くなっている。最初の場面は、砂場で4歳児の男児3、4人と一緒に掘っていた保育者が、もう一人の保育者に遊びの状況を説明しているところである。砂場には「あなほりこうじちゅう」の立て札、ブルーシートも敷かれている。保育者は「昔の人がお肉とか切っていた・石包丁・」と、トレイに置いた薄い石をつまんで説明している。「こんな石もあった」と砂場からさらに見つけたものを持ってくる男児。保育者は「石か、化石かなあ?」と応じている。砂場の穴は横に広がっており、別の男児はショベルを両手で持って上から慎重に、砂の穴の側面を削っている。「うわ!あった」と男児。「また見つけたね」と保育者。2分30秒あたりからは、同じ砂場ではあるが別の日の遊びの様子であり、砂場に水をためて、穴の間に木の板を橋のように渡している場面である。

プレゼンテーション

3yr-dinos

概要 共有 編集 セキュリティ パブリッシュ 分析 その他 削除



図1 「3yr-dinos」のMediasiteの分析ダッシュボード

プレゼンテーション

4sunaba

概要 共有 編集 セキュリティ パブリッシュ 分析 その他 削除

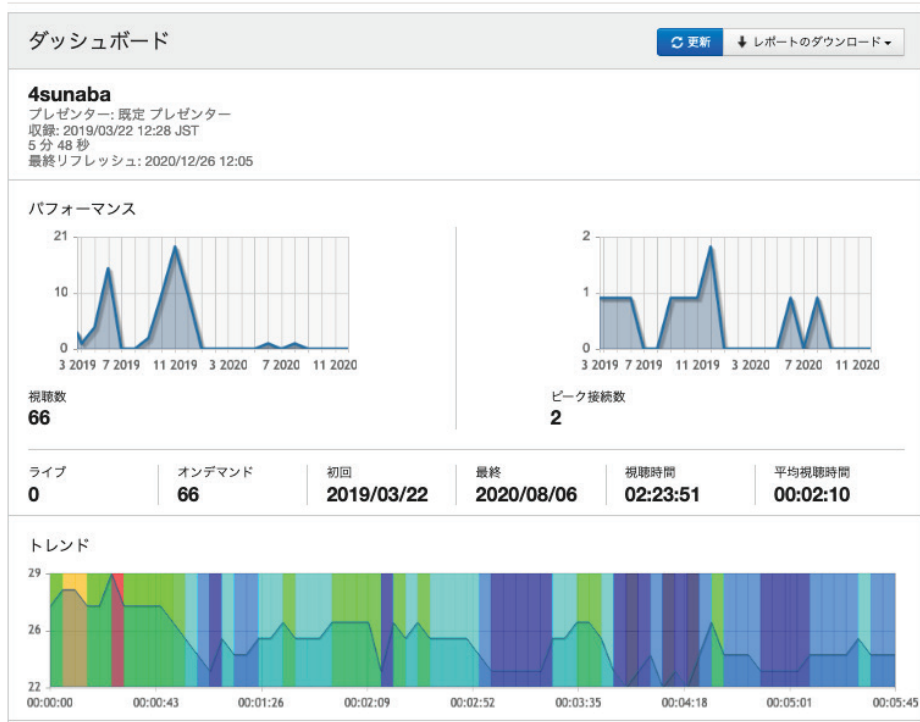


図2 「4sunaba」のMediasiteの分析ダッシュボード

3分あたりからは、砂場にさらに水を流し、塩ビ管にいかにか水を流すか、といったことも子どもによって説明がなされている。ビデオが5分45秒と長いこともあって、視聴者は、中盤以降はまんべんなく見ているようである。

3.3 here

「here」のMediasiteの分析ダッシュボードは以下の図3の通りである。

「here」という1分14秒の動画の中で最も視聴回数が多かったのは、26秒のあたりである。動画の内容は女兒たち4、5人がテラスのテーブルに分かれて座り、ジュズダマをテグスに通している場面である。ジュズダマは白いトレイに入っていて、女兒は「いっぱいになった」「さっきからこれぐらいよ」と言って自分のテグスを掲げて確かめている。別のテーブルでは、横の友達に自分のテグスを見せたり、前に座ってテグスにジュズダマを通している友達の手元を熱心に見たりしている女兒もいる。

3.4 ガサガサ

「ガサガサ」のMediasiteの分析ダッシュボードは以下の図4の通りである。

「ガサガサ」は、1分20秒の動画であるが、視聴回数に偏りが無い。動画の内容は鳴門教育大学の多

目的広場に子どもたちが園外保育に訪れる場面である。多目的広場には、雑木林が生い茂る小さな森がある。坂を登っていくと、森の入り口である。乾燥した葉が一面に地面を覆う中、5歳児たちは保育者と一緒に、「秘密基地」を作っていく。長い枝、短い枝、真っ直ぐなもの、しなったもの、枝分かれしたもの等、様々な木々を拾い、友達や保育者と考え合いながら、立体に組み上げていく作業は、園外保育ならではのダイナミックな活動である。

3.5 グラス

「グラス」のMediasiteの分析ダッシュボードは以下の図5の通りである。

「グラス」は、27秒という最も短い動画である。後半近くまでまんべんなく視聴されている。動画の内容は、6、7人の3歳児が中庭の芝生を楽しそうな声をあげながら、力いっぱい走っている場面である。保育者も子どもと手をつないで、楽しい雰囲気と一緒に走っている。丁寧に手入れされた芝生は、鮮やかな緑色で、子どもたちがかぶっている赤い帽子と美しいコントラストをなしている。ブックレットの保育事例は「芝生の上で、よーい、ドン」というタイトルであるが、動画があることによって、保育環境や遊びの雰囲気がよりいっそう伝わる。



図3 「here」のMediasiteの分析ダッシュボード

ガサガサ

概要 共有 編集 セキュリティ パブリッシュ 分析 その他 ✕ 削除

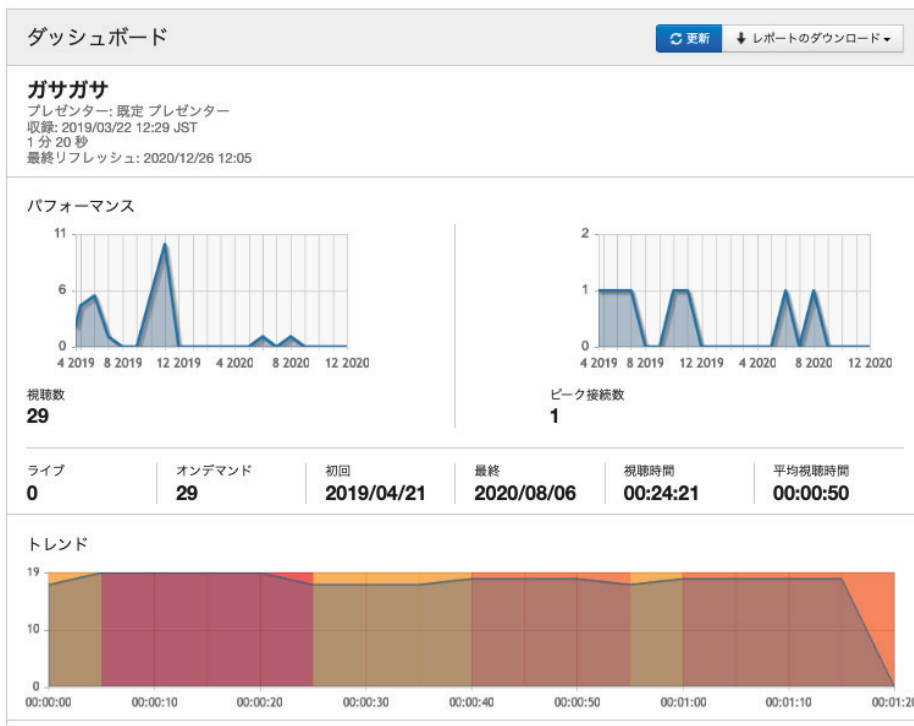


図4 「ガサガサ」のMediasiteの分析ダッシュボード

グラス

概要 共有 編集 セキュリティ パブリッシュ 分析 その他 ✕ 削除

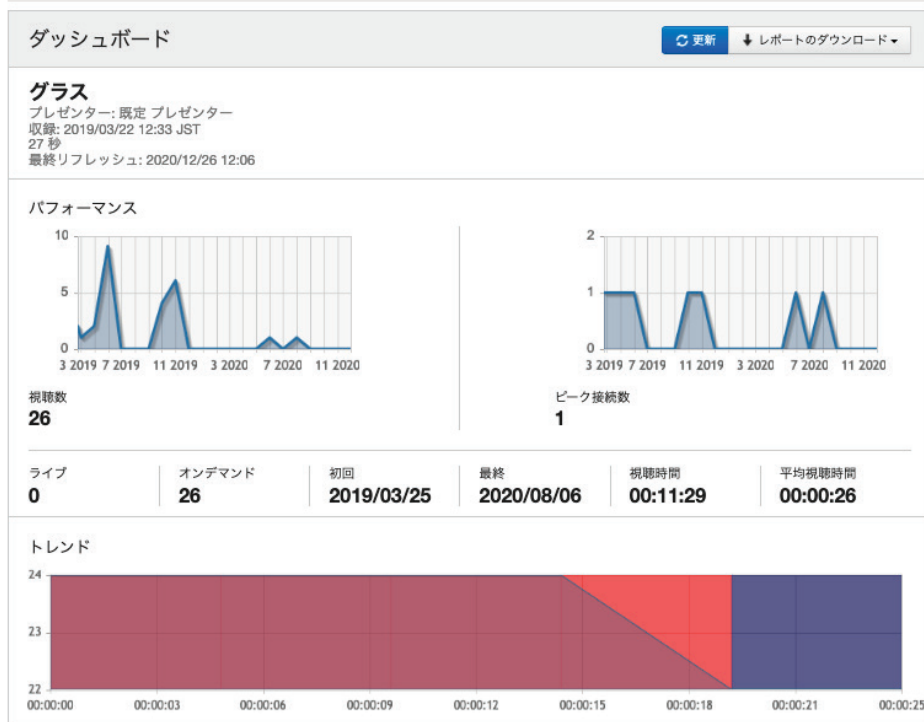


図5 「グラス」のMediasiteの分析ダッシュボード

3.6 ハナビラ

「ハナビラ」の Mediasite の分析ダッシュボードは以下の図 6 の通りである。

「ハナビラ」は、1 分 49 秒の動画であるが、1 分までが特に視聴回数が多かった。園庭の満開の桜の下で、花びらを拾う子どもたち。この動画は 21 秒から写真のスライドショー形式になっており、保育説明や、子どもの発言の文字が写真の下部に入っている。分りやすくなっている。拾った花びらを黒いトレイに入れて、保育室に持って帰り、紺色の画用紙に並べて絵本を作る子どもたち。45 秒からは、子どもが作った絵本の内容がアップで紹介されている。後半からは、サクラの花びらだけでなく、押し花も絵本にしている写真がスライドショーで表示されている。

4. 考察

ここまで 6 つの動画コンテンツについて、特にトレンドが高い部分の内容について確認してきた。6 つの動画に記録された鳴門教育大学附属幼稚園の保育の場面は、いずれも特殊な遊具等を用いた保育ではなく、他の幼稚園・こども園・保育所においても身近にあるものが子どもの遊びの環境となっている。それゆえ、現職の保育者にとっては、動画を視聴す

る際にも、その背景等が想像しやすいと考えられる。

「3yr-dinos」, 「4sunaba」, 「here」, 「ハナビラ」の動画については、繰り返し視聴されている場面と、視聴が少なくなる場面がある。動画の視聴は個人が自由に視聴したのではなく、園内研修等で用いられたため、園長等の研修のリーダーが取り上げたい場面が繰り返し視聴された可能性が高い。

また、5分48秒の「4sunaba」であっても、平均視聴時間は、2分10秒であり、どの動画も平均視聴時間は1分程度となっている。このことから、短時間の保育動画を繰り返し見ることのニーズがあることが分かる。現職の保育者は、保育動画の背景が想像しやすいだけに、かえって保育の細部をピンポイントで繰り返し見て理解したい、ということなのではないだろうか。保育者は多忙であり、子どもの午睡時間や、降園後の次の日の保育準備の時間の合間に、交代で園内研修を行う場合も多い。短時間で内容の濃い動画が求められるであろう。

保育動画を見る際には、園内研修において複数の保育者で話し合いながら同じ場面を見ることによって、互いに視点を共有したり理解を深めたりすることもできる。

ハナビラ



図 6 「ハナビラ」の Mediasite の分析ダッシュボード

5. 今後の課題

今回の研究では、6つの保育動画をストリーミング配信型によって提供したが、今後はさらにコンテンツを増やし、園内研修に必要な年齢や季節、遊びや環境を現職保育者が必要に応じて選択できるようにすることも可能である。また、保育者養成段階にある学生の学びにとっても、動画コンテンツは有用であると考えられるが、現職保育者と違って学生は、保育経験がなく、保育場面や保育の背景にあるものを想像することが難しい。そのため、今回のような2分程度の保育動画が有効なのか、もっと長時間の保育動画が有効なのかは改めて検討する必要がある。

付記

本研究は、JSPS 科研費 16K04552 の助成を受けたものである。

参考文献

- OECD(2006), Starting Strong II: Early Childhood Education and Care, OECD
- 中坪史典・秋田喜代美・増田時枝・箕輪潤子・安見克夫(2012), 保育カンファレンスにおける談話スタイルとその規定要因, 保育学研究, 50(1), 29-40 頁
- 塩路晶子・湯地宏樹・田村隆宏・佐々木晃(2020), 保育者の環境を構成する観点に関する研究: 若手とベテランの遊びについての語りを手がかりに, 日本教育大学協会研究年報, 38, 29-39 頁
- 曾根直人・藤原伸彦・塩路晶子・湯地宏樹・田村隆宏・木下光二(2020), 保育の環境構成 ラーニングブックレット用ストリーミング配信システムの構築と運用, 鳴門教育大学情報教育ジャーナル, 17, 30-34 頁
- 幼稚園における保育者の「環境を構成する」力量形成に関する研究チーム(2018), 『豊かな遊びの事例から学ぶ! 保育の環境構成 ラーニングブックレット』